

楽桜会会報

奈良教育大学音楽専攻者同窓会 第16号



目次

ごあいさつ・恩師からのお便り……………	2
会員からのお便り・	
がんばってま〜す……………	3~5
総会・コンサートのご案内……………	5
寄付名簿……………	5
演奏委員会より・事務局だより……………	6

表紙のことは

山本妙子 (S50)

市民会館(スメタナホール)

アールヌーヴォー様式の美しい建物です。毎年「プラハの春」国際音楽祭はこのホールでスメタナ作曲交響詩「我が祖国」が演奏され開幕します。プリリアントコンサートでは、プラハの美しい街並に、ボヘミアの森やブルタヴァ川に思いを馳せ「ブルタヴァ(モルダウ)」を合唱できた事が良き思い出となっています。

ごあいさつ

困難な時代にこそ音楽を!



会長 ^{やま せ} 山瀬 ^{まさ み} 真美 (S51)

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか?

今年2月頃から徐々に新型コロナウイルスの感染が拡大し、いま世の中のすべての活動が停滞している中

で音楽関係も直撃を受け、演奏会どころか練習さえもままならない現状です。当然、私たち楽桜混声合唱団も2月に秋篠音楽堂で出演した「プリリアント・コンサート」以後5カ月間、全く練習できない日々を過ごしてまいりました。

平成21年に楽桜混声合唱団を結成して以来、初めての事態に戸惑いつつ、感染の恐怖に慄きながら、歌えない現状に悶々とする中でつるイライラや将来への心配など、いろいろ複雑な思いを持ちながらも、早くみんなで歌える日が来るのを

祈っておりました。

しかしこのまま何もせずに終息を祈って待っているばかりでは何も生まれません。

今年開催できずに涙をのんだ「楽桜会コンサート」を来年に延期開催すべく、すでに準備に掛かっています。

合唱練習はいつからできるか今はまだわかりませんが、いつGOサインが出てもいいように会員の皆さん個人個人での練習をして頂いています。

この混沌とした現状で、普段の何気ない生活や合唱するということが“当たり前”なことではなく、本当は“特別”なことだと気づきました。

これからはその気持ちを忘れず常に持ちながら皆さんと音楽(合唱)できる生活を共に喜び感謝し、そして大いにエンジョイしながら「楽桜会」を盛り上げていこうではありませんか!

恩師からのお便り



音楽科着任時から現在へ

音楽教育講座主任
前田 則子

奈良教育大学に着任して27年になります。

当時は、石崎一夫先生、矢田部義弘先生、古川由美先生と錚々たる7名がおられ、音楽科の昔話から音楽談義まで沢山の事を教えて頂きました。お酒と温泉が大好きで、学生との距離も近く、和気藹々とした楽しい日々を懐かしく思い起こします。

現在の教員は4名で、大学改革など全体に関わる仕事が増え、奔走する毎日です。学生は1学年18.9名、院生10名が在籍しています。皆元気一杯で、複数の副免許や資格取得のための沢山の授業、クラブやバイト、教員採用試験の勉強、演奏会出

演や卒論作成など一生懸命こなしています。

前期はオンラインでの授業やレッスンで、クラブやバイトができない分、練習時間が多く取れているようです。下宿生も6月末より3階練習室が解禁です。今も尚、ひたむきで心優しい音楽科の気質が卒業生の皆様から受け継がれている事を実感します。

山瀬会長より「楽桜会コンサート」をはじめとする様々な催しについてお知らせ頂き、皆様の音楽への熱い思いを感じました。今後も益々ご健勝にてご活躍下さいませ。音楽の力でコロナを乗り越えましょう。



会員からの お便り



楽桜会創成記

小西 泰彦 (S28)

私たちの楽桜会は、昭和61年4月20日に発足している。県庁内の記者クラブに届け出を行った時に、丁度居合わせた朝日新聞の記者さんといろいろと話し合った。その翌日の新聞の奈良版にそのことが報じられた。

私たちは早速、組織からということで顧問に牧野英三先生になっていただき、総会後に定年退職される「松城まさ先生を送る会」と、会報発行を手掛けることにした。また、原則、隔年一回総会を開くことを決めた。

会の名称もみんなで考えた。「オトラク会」、「青丹会」、はじめ人気の無かった「楽桜会」は、音楽棟のあたりが学内での花見の名所である話が出た途端にみんなが賛成して決まった。

次に、「松城先生を送る会」を開くこともすぐに決まった。私たちは先輩の人々にも声をかけ、かなりの人達が集まって、拍手の中を先生はゆっくりと大学正門に向かって歩みを進められた。

願わくば、私たちの生活が、不断の活動を続けて、音楽専攻者の誇りを以って生活をしていきたいという思いで一杯である。

がんばってま～す



この10年

松永 淑子 (S47)

「がんばっています」という題で500字以内で何か書いてくれないかな……と恩師から電話があり、なまけ者の私がこの10年、聖書全巻を数回読み何が書いてあるのかを知りたいと頑張ったことを書こうと思いました。

画家ゴーギャンのタヒチでの絵「楽園」に、「我々はどこから来たのか、何者なのか、どこへ行くのか」という題がついているそうですが、聖書のテーマも「楽園」だと思います。

聖書の神エホバは地球を整え楽園にされましたが、最初の間人は、これだけは食べるなどと言われ

た善悪を知る実を食べて、楽園から追放されました。

それからの「神なしで人間は幸せになれるか」の長い試行期間の中で文明は発達しましたが、人の心はどうでしょうか？

しかし、神は人間の罪によって損なわれたものを全てを元通りにし、神の愛に満ちた「楽園」を必ず実現されます。そして、その中で私たちも神の九つの霊の実・愛・喜び・平和・辛抱強さ・親切・善良・信仰・温和・自制を学んでいくのです。そんな楽園が来ると思われますか？私は来ると信じています。



指導者として

西口 博和(S54)

1979年3月卒業後、野迫川中に1年、桜井西中に14年、畝傍中に7年、河合第二中に15年お世話になり、2016年3月退職しました。

2017年5月から県内の中学校吹奏楽部の指導や、楽器メンテナンス、演奏会の講評などの活動を開始しています。

学校吹奏楽部使用楽器のメンテナンスについて、各校より依頼をいただき、修理・調整をすることで活動の援助をさせていただいています。金管楽器のハンダ付け、変形したベルなどの修正、打楽器の補修、鍵盤楽器調整、譜面台修理、楽器ケース補修など、吹奏楽部活動で考えられる修理、調整などを行っています。

また、音楽室・準備室の整備、楽譜データの作成、

カセットテープ、VHSビデオ、LDなど音楽ソフトをデジタル化する活動をしています。

校内音楽会(合唱コンクール)の審査、郡市や県主催の音楽会、吹奏楽連盟主催の演奏会での講評など、お声をかけていただける機会も増えています。

現在、関西吹奏楽連盟客員、奈良県吹奏楽連盟顧問・白樺中学校・郡山南中学校・式下中学校吹奏楽部外部指導員



吹奏楽部顧問の先生 困っていることはありませんか？

授業・教材研究・生徒指導・家庭訪問・カウンセリング・保護者対応
書類作成・会議・校務分掌 **※ 現場はとて忙ししい**
吹奏楽の指導も頑張りたい **※ 活動時間の制限、削減の流れは避けられない** 生徒に快適に練習、活動させたいのに……
※ 楽器の不調、活動場所環境の不具合など
気になること、改善したいことは山積み
※ 楽器修理、用具修理、環境整備には予算がない
楽器店に頼むのは気が引ける内容など……

お手伝いします!!



奈良県吹奏楽連盟 顧問 西口博和

090-3268-6887

largo2494brasswind@yahoo.co.jp



・必要な部品代のみ負担していただきます
・準備室環境、音楽科備品、オーディオ整備などもご相談ください

楽器分解・清掃・調整

(フェルト・コルク・タンポなどの交換・スライド調整)



ジョイントコルク交換





音楽に囲まれて

森 美也子 (S56)

平成31年3月、38年間の教職生活にピリオドをうちました。

中学校に23年、小学校に15年、全部で4校お世話になりました。日々の授業はもちろんのこと、合唱コンクールや音楽会の指導、吹奏楽部や金管バンドの指揮、マーチングコンテの作成、授業のため筆を習うなど、今から思い返せば綱渡りのような毎日でしたが、いつも音楽に囲まれ必死に取り組んできました。

そして現在、楽桜混声合唱団に参加させて頂いておりますが、本当に楽しく純粋に音楽に向き合えているように思います。楽桜混声合唱団は佐竹司郎先生のご指導のもと、月2回の練習を行い、

楽桜会コンサート等に出演しています。伴奏者は島崎始子先生が中心となってされておりますが、縁あって私もピアノ伴奏をさせていただく機会を得ました。先輩のように上手く弾けませんが、学生時代に、合唱の時間やコールグレイスで伴奏をしていた時のことを思い出しつつ、佐竹先生のご指導をしっかり聞き(実は佐竹先生は高校の合唱部の恩師でした)、先生の思うような演奏になればと思っています。

なかなか思うようには弾けませんが、これからも豊かな音楽に囲まれ、新たなステージでも頑張っていきたいと思っています。

2021年 楽桜会総会

と き 2021年6月6日(日)

午前10時30分より

ところ ホテル アジール奈良

総会終了後 懇親会

第6回 楽桜会コンサート

日 時 2021年10月24日(日) 午後2時開演

場 所 秋篠音楽堂

(近鉄西大寺駅北口下車徒歩3分)

ならファミリー6階)

楽桜混声合唱団にご参加ください!!

平成21年12月結成されて11年目、佐竹司郎さん指導の下、原則第2、第4日曜日午後1時半～午後3時半ごろまで奈良市中部公民館で練習しています。詳しいことは事務局へお問い合わせください。

ご寄附いただいた方々 R1.5～R2.3

昭29～昭41卒

宮西 輝夫・中尾 寛玄・浅名 正昌・森下 博子・喜多 園子・吉村 弘子・今西 入江・中西 久子
吉田 峰一・遠藤 哲子・西嶋 時子・佐藤 直子・植野 良子・谷村多恵子・中納 俊夫・河村 宣子
三浦 祥子・松村 隆雄・松村 典代・松原さおり・寺内 皖子・仲西 孝雄・奥野 捷子・御簾 圭子

昭42～昭63卒

藤井 翠・成美 寿子・田畑 紀子・田丸かよ子・柳生れい子・石井知恵子・小川 豊子・赤沢 重代
吉田 和美・伊藤 勤・宅 敏子・森本 玉枝・安宅 恭子・富井 文・廣瀬佐和子・山本 妙子
和田 幸子・居郷 弘子・前田由美子・関 浩子・長尾 祐子・高木さやか・橋本 律子・井上 久世

平成元卒～

越尾 直美・上本英美子・高熊 直子

合計 51名 122,896円

演奏会委員会からの報告

**2020年10月25日(日) 午後2時開演予定の「楽桜会コンサート」は
2021年10月24日(日)に延期します**

4月に出された新型コロナ緊急事態宣言以来、感染拡大防止のため「自粛」「ステイホーム」の日々。残念なことに、多くのコンサートがキャンセルになりました。演奏活動をされている会員の皆様も大変な日々を送られていることでしょう。

当演奏会委員会も昨年から楽桜会コンサート開催にむけて、会場の確保、出演者の募集など準備を進めてきましたが、感染の収束の見込みがつかない中で開催すべきか延期すべきか苦渋の決断を迫られることになりました。協議の末、6月21日の理事会に提案し、来年に延期することを決定しました。

今年実施するためには、消毒やマスク着用はもちろん、3密を避けるため客席は間隔を空けて半分程度の数の使用、ステージに上がる人数は7名以下で間隔を取って等の条件が会場側から提示されました。このような形ではコンサートを開催することはできません。来年は事態が収束するという保証はありませんが、出来る限り通常通り開催できることを願っています。

出演はソロ6組が決定していますが、今のところ延期によって辞退されるという連絡はありませんので、そのまま来年にもご出演いただけると期待しています。出演枠は、あと1、2組程度ありますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。



事務局だより

新型コロナウイルス感染を防ごうと自粛、マスク着用、手指の消毒など一生懸命頑張っている中、感染の恐怖はなかなか消えません。

聞くところによると、音楽の授業では歌ってはいけないし、リコーダーも吹けないとか。現場ではどんなに苦勞をされていることでしょう。

楽桜混声合唱団も2月末に秋篠音楽堂で歌ったのを最後に、練習会場は6月中旬まで閉鎖され練習どころか会うこともできませんでした。7月になりやっと合唱の練習が認められるようになりましたが、感染防止のため密を避けて人数は半分、マスクやフェイスシールドをしてならという条件付きでした。こんなことが起こるなんて、誰も想像できませんでした。早く収束してほしいものです。

楽桜会コンサートも延期になり大変残念ですが、来年10月にはステージの上で思う存分演奏する卒業生を応援できることを祈っています。

最後になりましたが、このような状況下で発行は遅れましたが、安全に留意し何度も編集会議をして会報を作っていたいただいた広報委員会のみなさんに感謝の言葉を贈りましょう。

ありがとうございました。

編集後記

「楽桜会会報」第16号をお届け致します。

今年度は、コロナウイルスのため突然の公共施設の閉鎖・外出禁止等で、理事会、広報委員会が開けず、発行が大変遅くなりご心配をおかけしたことを思います。

原稿依頼には、会員の方々が快く短時間で返信を下され、ありがとうございましたm(__)m

いつもと違う学生さんの居ない、密を避けた大学の山田ホール奥の談話室での編集会議とメールのやり取りで発行の運びとなりました。会議場所を提供していただいた大学側のお心遣いもとても有難いことでした。お礼申し上げますm(__)m

何と云っても、会員の皆様のご協力あつての会報です。今後ともよろしく願いいたします(^^)

令和2年8月30日発行
奈良教育大学音楽専攻者同窓会
「楽桜会会報」第16号

楽桜会ホームページ
QRコード



発行所 楽桜会事務局 〒630-8434 奈良市山町98 武村方
Tel&Fax 0742(37)2587
編集・発行 楽桜会広報委員会 E-mail: musicalbox.t2@eto.eonet.ne.jp
印刷所 関西印刷株式会社 〒630-8281 奈良市南半田町19-20番地